

## 評価細目の第三者評価結果

### 児童福祉分野の評価基準

判 断 基 準 項 目	評価結果
評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	
Ⅰ-1 理念・基本方針	
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
<p>法人理念や保育園の運営方針が明文化され、施設内に掲示されるとともに入園のしおりやホームページにも分かりやすく記載されています。また、保護者や地域にも周知を図り、職員間でも研修や会議において継続的な周知に取り組んでいます。</p>	
Ⅰ-2 計画の策定	
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	b
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
<p>園周辺や地域の現状を踏まえ、保育の目標や課題について明確化した中長期計画が策定されています。また、計画の再確認や評価・見直しも行われています。各事業計画については職員の意見も取り入れながら作成されており、目標や展望を明確にして実施状況が確認しやすくなっています。事業計画は職員に配布するとともに説明を行っていますが、今後は事業計画の進捗状況についても職員に報告・確認するなど継続的な取り組みが望まれます。保護者には保育園のしおりを基に説明を行い、内容の周知を図っています。</p>	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ	
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

評価機関コメント

市の園長会などで遵守すべき法令等について把握し、職員会議等で職員に周知しています。職員の自己評価や職員との面談を通して保育の質の現状について定期的に評価・分析を行い、その結果から課題を把握し、質の向上にリーダーシップを発揮しています。

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b

## 評価機関コメント

法人本部の施設長会議により社会福祉事業全体の動向の把握に努めるとともに、把握したニーズを各計画に反映しています。公認会計士の指導を受けて経営の改善に取り組んでいますが、今後は外部監査の実施が望まれます。

Ⅱ-2 人材の確保・養成		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	a

## 評価機関コメント

必要な人材に関するプランが人事考課能力基準表に明示されています。面接を行い、年に2回人事考課を実施し、職員の質向上に努めています。策定された研修計画に基づく研修が実施され、受講後は研修報告書を基に職員会議で周知しています。実習生受け入れ担当者を置き、職員会議で受け入れの意義や方針について説明し、全職員に周知を図っています。実習が計画的に学べるプログラムも用意されています。

## II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。

II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

## 評価機関コメント

安全管理に関するマニュアルが整備されています。事故が起こった場合はリスク報告書を作成し、リスクマネジメント委員会で原因及び発生防止に向けた検討が行われています。ヒヤリハット報告書や事故防止のための安全点検表を作成し、リスクマネジメント委員会で未然防止策を検討し、評価・見直しを行っています。

## II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

## 評価機関コメント

地域の子育て家庭が利用できる園庭開放や親子教室、一時保育、子育てサークルへの部屋の貸し出し、保育体験等、子育て中の親子が参加できる機会を多く設け、保育園の機能を地域に還元しています。スマイルサポーターを配置し、育児相談をはじめ地域での様々な相談に対応できる体制も整備しています。

子育て支援の参加者にアンケートを実施することで地域の子育てニーズを把握し、地域の交流計画に反映した事業活動を行っています。

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
評価機関コメント		
<p>子どもの人権擁護に関する基本姿勢を保育理念に明示し、個人情報についても職員会議や研修等を通じて職員間で共有しています。懇談会やアンケート調査を実施し、保護者の意向の把握に努め、把握した内容を分析・検討し改善する仕組みが整備されています。また、保護者が相談しやすいように相談方法について明示した文書を配布するとともに、意見を述べやすいスペースも確保しています。苦情対応マニュアルを作成して保護者からの苦情にも迅速に対応し、保護者に結果や対応策をフィードバックしています。</p>		
Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

## 評価機関コメント

前回の第三者評価の結果を踏まえて、特に各計画やマニュアル等の職員周知という点に重きをおき、年2回の自己評価の実施や今回の第三者評価を受けるにあたっての項目の見直し等を行っています。また、保育士個々の振り返りに留まらず、保育士が評価者となって互いの保育を観察し評価し合うなど、園全体の質向上に努めています。

個人情報保護に関するマニュアルに基づく職員研修を行い、職員の共通理解に努めています。

## Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
-----------	-------------------------------	---

Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
-----------	-----------------------------	---

Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。

Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
-----------	---	---

## 評価機関コメント

保育・保育サービスおよび料金等について保育園のしおりに詳細に記載されています。また、事業所の変更や移行、終了時においても、保育の継続性に配慮していることについて保護者に対し文書でも伝えていきます。

## Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。

Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
-----------	--------------------------	---

Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。

Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
-----------	---------------------	---

Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
-----------	----------------------------	---

## 評価機関コメント

保育記録や身体状況記録簿で子どもの状況を把握しており、保育課程、年間計画については年1回、月案については月1回、週案日案については毎日観察を行うことで、子どもたちに合わせた保育が行えるよう常に心がけています。

## 児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判断基準項目		評価結果
A-1 保育所保育の基本		
1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において予後と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a
1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a

### 評価機関コメント

職員参画のもとで保育課程を編成し、毎年2～3月に行う会議の場で計画を振り返り、保育課程に反映しています。これらの仕組みの基に、次年度の乳児保育、1・2歳児の保育、3歳以上児の保育の内容や方法に繋げています。乳児クラスの部屋にはじゅうたんを敷くことで、寝転がったりゆったりと関われる場所が確保されたり、幼児クラスの部屋にはコーナーを設けて、座って遊べる空間を作ったりと、子どもたちが心地よく過ごし、主体的に活動することができる環境づくりに努めています。また、園周辺の自然環境を利用し、虫取りなど子どもたちの興味を考慮した計画を立案し、自然とのふれあいを大切に考えた行事についても工夫されています。

## A-2 子どもの生活と発達

## 2-(1) 生活と発達の連続性

A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
A-2-(1)-②	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

## 2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている	a
A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a

## 2-(3) 健康及び安全の実施体制

A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a

## 評価機関コメント

障がいをもつ子どもと保護者のために支援学級と連絡を図り、意見交換を行うとともに、市の担当課や言語聴覚士と連携しながら支援を行い、保護者に伝えるなど保護者への支援にも努めています。また、アレルギー疾患をもつ子どもにおいては、主治医の指示のもと、個々に合った食事提供に努めており、プレートの色分けによる誤食防止や、他の子どもとできるだけ見た目が同じようになるよう創意工夫しています。また、調理場の衛生管理については、月に1回、業者による点検等を行い適切に実施しています。

## A-3 保護者に対する支援

## 3-(1) 家庭との緊密な連携

A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に連携した保護者支援を行っている。	a
A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a

## 評価機関コメント

毎日の連絡帳を介して保護者から家庭の様子を把握したり、懇談会などの機会を設けて家庭との連携を図るよう努めています。虐待においては、子どもの様子について1日のチェックポイントを園独自で作成し、各クラスでチェックすることで早期発見に努めています。

## A-4 子どもの発達・生活援助

## 4-(1) 子どもの発達・生活援助

A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	a
-----------	---	---

## 評価機関コメント

子どもへの体罰の禁止についてマニュアルに明記するとともに、職員誓約書を毎年一人ひとりと交わしています。また、日頃から子どもへの不適切な対応が行われないよう、職員間で話し合っています。